

平成 27 年 9 月 18 日  
沖縄電力株式会社

## エネルギー記者会における社長会見について

電気事業連合会加盟各社は、エネルギー記者会において、毎月（8 月を除く）輪番で社長による定例記者会見を行っております。

本日、当社社長 大嶺満が会見を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. 日 時： 平成 27 年 9 月 18 日（金）16:30
2. 場 所： 経団連ビル 電事連 1801 会議室  
（東京都千代田区大手町）
3. 出席者： エネルギー記者会加盟各社
4. 配布資料：
  - ① 沖縄経済の動向について
  - ② 電力需要の動向について
  - ③ ガス供給事業の開始について

以 上

## 1. 沖縄経済の動向について

### ○現状

最近の県内経済は、個人消費や観光関連が堅調で、建設関連も底堅く推移しており、全体として拡大している。

- ・個人消費 …… 県内人口の増加や観光需要を背景に、百貨店・スーパー・コンビニエンスストアといった小売業販売を中心に堅調に推移している。
- ・観光 …… 入域観光客数は34カ月連続で前年を上回っており、国内客は航空路線の拡充による個人客や法人の団体客の増加等から好調に推移、外国客も航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数の増加により大幅に増加していることから、好調に推移している。
- ・建設関連 …… 公共投資は底堅く推移している。新設住宅着工戸数は、人口や世帯数の増加等により、総じて底堅く推移している。
- ・雇用 …… 完全失業率は全国に比べて高い水準にあるものの、有効求人倍率が最高値を更新するなど改善している。

### ○先行き

個人消費や観光関連が堅調に推移していることに加え、建設関連も底堅く推移していることから、引き続き拡大していくことが見込まれる。また、中長期的には、「沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」に基づき、観光や情報通信、国際物流関連産業の育成に重点を置いた各種施策が展開されることにより、更なる成長・発展が期待される。

#### 主要経済指標（対前年同期伸び率）の推移

（単位：％）

項目	平成26年度			平成27年度
	上期	下期	年度	4～7月
百貨店・スーパー売上高	6.8	0.9	3.8	8.0
新車販売台数	0.6	0.9	0.8	▲0.0
家電卸販売額	▲12.4	▲24.3	▲18.5	0.3
新設住宅着工戸数	▲5.2	▲19.4	▲12.5	9.3
公共工事請負金額	23.6	23.0	23.3	▲15.6
入域観光客数	10.4	7.5	9.0	9.9
完全失業率	▲0.3	0.4	0.0	▲0.5
企業倒産金額	▲23.6	▲59.7	▲44.6	▲41.4

注①：百貨店・スーパー売上高は全店舗ベース、平成27年7月迄の速報値。

注②：家電卸販売額は概算値。

注③：完全失業率は原数値。前年同期とのポイント差を記載。

〔データ出所：沖縄総合事務局、沖縄県、りゅうぎん総合研究所、他〕

以上

## 2. 電力需要の動向について

○平成27年度4～7月の電力需要：25億5千7百万kWh(対前年伸び率+5.0%)

・民生用需要

電灯や業務用電力において、新規お客さま等による需要増や、気温が高めに推移したことによる需要増から、前年同期を上回った。

・産業用需要

石油業などの需要減により、前年度を下回った。

### 平成27年度4～7月 用途別需要実績

(単位：百万kWh、%)

		H26年度 A	H27年度 B	前年差 B-A	対前年 伸び率	
電 灯 計		915	964	49	5.3	
電 力	業 務 用	923	980	57	6.1	
	小 口	低 圧	141	157	16	11.1
		高圧A	150	153	3	2.6
	計	291	310	19	6.7	
	大 口	293	291	▲ 2	▲ 0.7	
	そ の 他	13	12	▲ 1	▲ 4.3	
	計	1,520	1,593	73	4.9	
電灯電力計		2,435	2,557	122	5.0	
特定規模需要以外の 需要(再掲)		2,001	2,103	102	5.1	
特 定 ( 再 掲 規 模 需 要)	業 務 用	230	256	26	11.1	
	産業用その他	204	198	▲ 6	▲ 2.8	
	計	434	454	20	4.6	

※当社の特定規模需要の範囲は、特別高圧で受電し、原則として使用規模が2,000kW以上のお客さま

以上

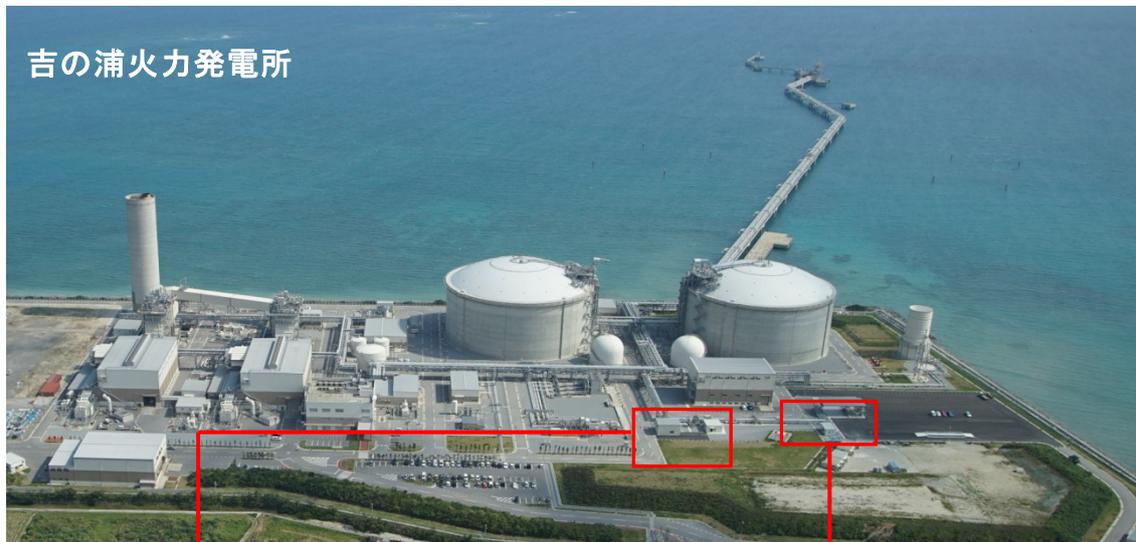
### 3. ガス供給事業の開始について

はじめに

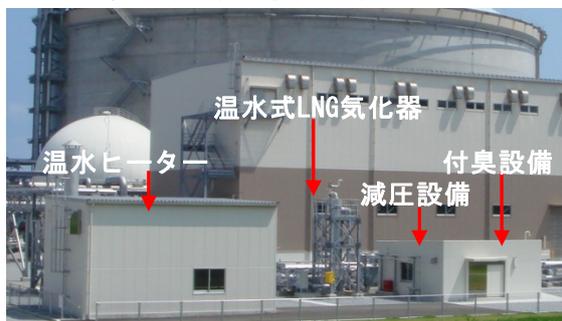
当社は、電力の安定供給や地球温暖化対策等を目的に、平成24年度に天然ガスを燃料とする吉の浦火力発電所の運転を開始しております。

天然ガスは、環境性や安全性に優れており、発電用燃料としての用途に加え、産業用や商業用の燃料として幅広い需要があることから、平成26年3月より吉の浦火力発電所構内にて、ガス供給設備の建設・試運転を進め、当社グループ会社の株式会社プログレッシブエナジー（以下PEC）を通じ、平成27年5月1日より本格的にローリー車による供給、8月17日より導管による供給を開始しました。

供給にあたっては、当社が吉の浦火力発電所構内でLNG出荷・ガス製造設備の運転管理を行い、天然ガスの輸送・販売はPECが行います。



○ガス製造設備（導管供給）



【設備構成】

温水式LNG気化器、温水ヒーター、  
減圧設備、付臭設備 等

○LNG出荷設備（ローリー供給）



【設備構成】

ローリー出荷ゲート（2ゲート）  
計量用トラックスケール 等

## (1) 天然ガスの供給方法について

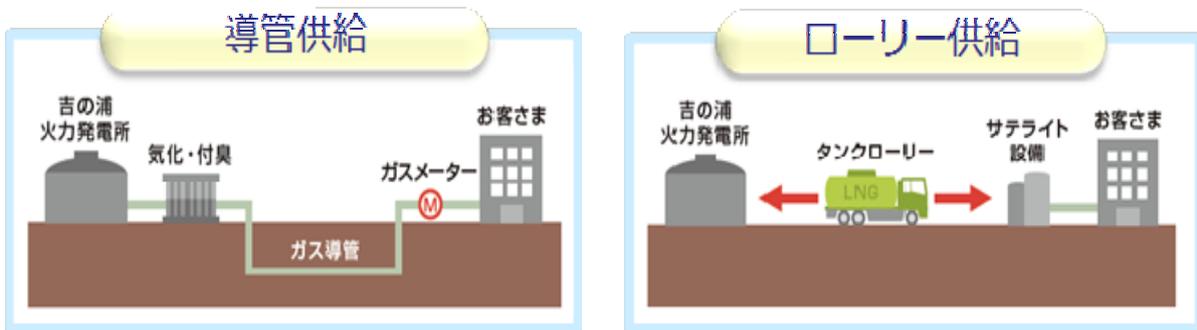
### ① 導管供給

吉の浦火力発電所近傍に位置するお客さまに対しては、ガス導管で供給します。

### ② ローリー供給

遠隔地のお客さまに対してはローリー車にてサテライト設備まで輸送します。

(供給スキーム図)



## (2) 供給事例紹介…アワセ再開発エリア (アワセゴルフ場跡地)

沖縄本島中部の北中城村に位置する、約48ヘクタール(東京ドーム10個分)に及ぶ米軍基地施設返還跡地の開発エリアにおいて、サテライト設備を設置し、吉の浦火力発電所よりローリー供給を行い、同設備から導管による供給を開始しております。

平成27年5月より、同エリアの中核施設である県内最大規模の商業施設へ総合エネルギーサービスを提供しております。

### <提供している総合エネルギーサービス>

- ◆ 電気の2回線供給による電源セキュリティの向上
- ◆ 電気とガスのベストミックス空調システム提案
- ◆ 補助金申請(建築物省CO<sub>2</sub>先導事業)等のファイナンスサポート
- ◆ エネルギー設備の運用・メンテナンス



### (3) 総合エネルギーサービスの取り組み

熱需要分野への需要拡大を図るため、沖縄電力グループとして、多様化・高度化するお客さまニーズに対応した総合エネルギーサービスを推進していきます。

#### 沖縄電力グループの総合エネルギーサービス



#### ワンストップサービス



以上